

宇治武田病院 看護師のキャリアラダー

2017年 2月 13日 作成
2020年 3月 24日 改訂
2023年2月9日 改訂

平成28年6月「看護師の臨床ラダー(武田病院グループ看護部)」に順ずる

宇治武田病院 看護部長会

定義	レベル	I	II	III	IV	V	
看護の核となる実践能力	ニーズをとらえる力	レベルの定義	基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	より複雑な状況(疾患の予後、病期の進行など広い視野をもつ)において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
		目標	助言を得てケアの受けてや状況(場)のニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)のニーズを自らとらえる	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)を統合しニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえたニーズをとらえる
		行動目標に応じた実践項目	<p>□助言を受けながらケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる</p> <p>助言を受けながら看護単位の代表的な疾患を持つ患者情報をデータベースにそって収集できる</p> <p>助言を受けながら各診療記録に必要な情報が収集できる</p> <p>患者・家族から情報収集できる</p> <p>助言を受けながら看護診断を入力し確定できる情報収集ができる</p> <p>□ケアの受け手の状況から緊急度をとらえることができる</p> <p>助言を受けながら患者の状態に合わせてバイタルサイン測定等の観察等の観察をし、基本的なフィジカルアセスメントができる</p> <p>患者の状態から緊急度をとらえ助言を受けながら緊急度に応じた観察を必要な情報を得ることができる</p> <p>助言を受けながら致死性不整脈や意識障害など生命危機に関わる緊急性のある異常を発見できる</p>	<p>□自立してケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる</p> <p>看護単位の体系的な疾患をもつ患者の情報をデータベースにそって収集できる</p> <p>診療記録など決められた枠組みに沿った内容について、多職種から情報収集を行う</p> <p>診療記録など決められた枠組みに沿った内容について、多職種から情報収集を行う</p> <p>患者家族との信頼関係を確立し患者家族が看護計画に参加するための情報収集ができる</p> <p>□得られた情報をもとに、ケアの受け手の全体像としての課題をとらえることができる</p> <p>自立して患者の状態に合わせてバイタルサイン等の観察をしフィジカルアセスメントができる</p> <p>患者の状況から緊急度をとらえ緊急度に応じた観察をし必要な情報を得ることができる</p> <p>致死性不整脈や意識障害など生命危機に関わる緊急性のある異常を発見できる</p>	<p>□ケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から個性を踏まえ必要な情報収集ができる</p> <p>看護単位の代表的な疾患以外をもつ患者の情報収集ができる</p> <p>生活習慣など相手の生活を細部までとらえ患者・家族(または患者を取り巻く人々)の希望もふまえて入院生活や退院調整に必要な情報を得ることができる</p> <p>情報収集をもとに身体的精神的社会的スピリチュアルな側面のあらゆる情報から統合的に患者をとらえ優先度の高いニーズをとらえる</p> <p>追加情報を必要時家族から情報を得ることができる</p> <p>推定問題に関連したデータベース以外の情報も追加収集できる</p> <p>□得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる</p> <p>正確なフィジカルアセスメントができる</p> <p>患者から症状の訴えがあった場合全員として患者の体内で起こっている現象を考えることができる</p> <p>患者の状態に合わせて標準的な観察項目に関する観察ができるだけでなく各項目について観察する意味と観察する間の関連を理解し必要に応じて観察項目を追加したり異常値の出現に対処できる</p> <p>日々の看護展開の中で看護上の問題に関連した情報が収集できる</p>	<p>□予測的な状況判断のもと身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる</p> <p>チームの患者の情報収集が確実にできているか確認できる</p> <p>チームが収集した患者情報を統合し、不足情報を示すことができる</p> <p>患者に対し、疾患の予後と治療による影響や退院後の生活を予測した上で患者の家庭での役割、仕事の内容、疾患に対する思い等を意図的に焦点化して確認した上で、収集した情報を統合してニーズをとらえることができる</p> <p>チームの患者の情報と看護診断の整合性を確認できる</p> <p>□意図的に収集した情報を統合し、ニーズをとらえることができる</p> <p>正確なフィジカルアセスメントだけでなく、患者の状況の原因までを予測してとらえることができる</p> <p>患者から症状の訴えがあった場合、原因としてあらゆることを想定して患者の体内で起こっている現象を考えながら意図的に観察しアセスメントできる</p>	<p>□複雑な状況を把握し、ケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる</p> <p>患者の住む地域全体を俯瞰してニーズに対して不足している機能に気づき、他施設等に働きかけkることによって解決を図る事ができる</p> <p>地域の現状を踏まえ必要な箇所から他職種を介して情報を得ることができる</p> <p>患者に対し疾患の予後と治療による影響や退院後の生活を予測した上で、患者を取り巻く多様な人々がもつ情報の重要性を理解し、情報収集。患者と家族(または患者をとりまく人々)の価値観とすり合わせ、多角的な側面からニーズをとらえる</p> <p>看護診断では解決できない問題を関連職種とともにつなぐことができる</p> <p>□ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる。</p>

看護の核となる実践能力

ケアする力

行動目標に応じた実践項目

目標	助言を得ながら、安全な看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた看護を実践する	様々な技術を選択・応用し看護を実施する	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する
	□指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる	□ケアの受け手の個性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践できる	□ケアの受け手の個性に合わせて、適切なケアを実践できる	□ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズに応えるため幅広い選択肢の中から適切なケアを実践できる	□ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見(看護および看護以外の分野)を動員し、ケアを実践・評価・追及できる
	患者の状態に合わせて助言を受けながら手順をもとに説明を患者に行いケアを実施できる	患者の既往歴、年齢、性別、社会的役割等を考慮して標準的な看護計画を追加変更し自立してケアを実践する	患者の入院前からの習慣を考慮した生活行動援助を計画実践する	患者に対し疾患の予後と治療による影響と患者の生活を考慮し幅広い選択肢の中から適切なケアを提案、実践できる	ケアの開発のための努力を継続して行える
	□指導を受けながら、ケアの受け手に基本的援助ができる	重症患者や医療依存度の高い患者に対しても自立してケアを実践する	□ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズを察知し、ケアの方法に工夫ができる	□幅広い視野でケアの受け手をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的及び予防的に看護実践ができる	コミュニケーションに長けており患者に最適な対応ができる
	助言を受けながら基本的生活行動の援助を援助を行う。重症患者や医療依存度の高い患者については指導を受けて実施できる	□ケアの受け手に対してケアを実施する際に必要な情報を得ることができる	患者に対して指導をする場合患者の生活習慣や価値観、希望などを考慮して説明することができる	患者に対して指導する場合予測的な視野を持ちながら患者の反応に応じて段階的に説明することができる	ケアの開発の為の努力を継続して行える
	□看護手順やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる	患者に対してケアを実践する際に必要な情報を得て状況に応じた援助を実践する	□ケアの受け手の個性をとらえ、看護実践に反映ができる	患者の生活の中で起こりうる課題や課題や症状について予測した上で患者の思いや理解度を確認しながら対処方法や予防方法を説明する。その際患者の生活習慣や価値観等希望を考慮し幅広い知識から様々な手段を提案できる	患者の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見を用い患者の尊厳を尊重し患者のQOLや生活の可能性を広げるケアを考え実践できる
	基本的看護技術については臨床実践能力チェックリストの到達目標が達成できる	□ケアの受け手の状況に応じた援助ができる	患者のニーズを的確にとらえ、複数の患者を受け持つ中で優先順位を正しく判断しケアが実践できる		患者の疾患の予後と治療による影響により、患者の希望に沿った生活が困難な状況であっても患者の希望や価値観、尊厳を尊重し新たな生活の可能性を広げるケアを提案できる
	急変時には対応の場において行動を把握し、指示を受けながら行動できる。バイタルサイン測定実施などできることを実践する	観察して患者の状態を把握し必要に応じて時間調整や疼痛コントロール等を実践してからケアを行う事ができる	急変時には落ち着いて対応し家族(または患者を取り巻く人々)等に配慮することができる	急変時には原因や今後の展開を予測しながら患者および家族(または患者を取り巻く人々)への対応と今後の準備ができる	□複雑な問題をアセスメントし、最適な看護を選択できる
	助言を受けながら看護上の問題がわかり看護診断名をあげることができる	急変時には指示されたケアを責任を持って実践できる	主体的に緊急事態に対応した行動ができる	看護上の問題及び推定される問題の看護診断名をあげ、メンバーに指導できる	急変時には複雑な病態の患者においても原因や今後の展開を予測しながら患者及び家族(または患者を取り巻く人々)への対応と今後への準備ができる
	助言を受けながら受け持ち患者の看護診断をし看護計画を立案できる	看護上の問題がわかり看護診断名をあげることができる	個性を考慮した看護上の問題がわかり看護診断名をあげることができる	看護診断を活用し看護計画を立案でき、かつメンバーに指導できる	部署で担当する患者の看護診断についてメンバーに指導できる
	助言を受けながら看護計画にそった看護ケアが実践できる	看護診断を活用し看護計画を立案できる	個性を考慮した看護計画が立案できる	患者の生活習慣や価値観等希望を考慮して幅広い知識から様々な手段を提案する	患者の尊厳を尊重し患者のQOLや生活の可能性を広げるケアを考え実践できる
	看護基準・手順をもとに、正確安全に看護業務が遂行できる	看護計画にそった看護ケアが実践できる	患者の個性に合わせて適切なケアを行う。患者の習慣に合わせて生活行動援助を計画・実践する	個性のある看護が提供できるように指導する	個性のある看護が提供できるよう役割モデルになれる
	助言を受けながら実践の振り返りができる	看護基準・手順をを活用しながら実践できる	個性のある看護が提供できる	1)あらゆる資源を効果的に活用できる	1)他(多)職種と協力しチームカンファレンスを開催し看護の展開、実践ができる
	その日担当する患者の状況をリーダーもしくはチームメンバーに報告できる	実践の振り返りができる	1)患者の生活習慣や価値観、希望などを考慮して説明・実践する	2)看護技術に習熟しておりメンバーに指導できる	2)看護計画をもとにその場の状況に応じた看護が実践できるようにメンバーを指導できる
	助言を受けながら患者・家族に自部署の検査や手術などの予定を説明することができる	その日担当する患者の状況をリーダーに報告できる	2)ニーズを的確にとらえ、複数の患者を受け持つ中、優先順位を判断しケアを実践できる	3)患者カンファレンスが行えるようカンファレンスを設定する	3)複雑な患者ケアの問題に対してすすんで関わりを持ち記録に残すことができる
	看護記録マニュアルにそって実践した看護が記録できる	カンファレンスで受け持ち患者のケアについて意見ができる	看護基準・手順を活用しながら新人・メンバー指導ができる	部署の患者の状態を把握し異常があれば医師に報告し対応できる	緊急事態を予測し、環境やメンバーの動きを調整することができる
		患者・家族に検査や手術などの予定が説明できる	その日担当する患者の状況をとらえリーダーに報告できる	実施した看護が記録できメンバーに指導できる	複雑な病態の患者においても原因や今後の展開を予測しながら患者及び家族への対応と今後への準備ができる
		実践した看護が記録できる	受け持ち看護師として、チームカンファレンスで受け持ち患者の看護展開についてカンファレンスができる	看護単位の監査から課題が抽出でき問題提議ができる	
			患者・家族の個性をとらえ検査や手術などの予定が説明できる		
			個性のある実践した看護が記録できる		
			記録の監査ができる		

看護の核となる実践能力	協働する力	目標	関係者と情報共有ができる	看護の展開に必要な関係者を特定し情報交換ができる	ケアの受け手やその関係者・多職種と連携ができる	ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように多職種の力を引き出し連携に活かす
		行動目標に応じた実践項目	<input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアの受け手を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解したうえで、それぞれと積極的に情報交換ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の個別的なニーズに対応するために、その関係者と協力し合いながら多職種連携を進めていくことができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手がおかれている状況(場)を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる	<input type="checkbox"/> 複雑な状況(場)の中で見えにくくなっているケアの受け手のニーズに適切に対応するために、自律的な判断のもと関係者に積極的に働きかけることができる
			<input type="checkbox"/> カンファレンスに参加し発言することで自らの持つ情報を提供して関係者と共有する	患者に関わる多職種の役割が理解できる	患者の現在ある状況をとらえ、必要な職種がわかり協力を求めることができる	患者に対し起こりうる課題を予測し認定看護師等専門家の関わりを提案し調整することができる	多職種との連携において病院内だけでなく病院外との複雑な調整ができる
			<input type="checkbox"/> 助言を受けながらチームの一人としての自分の役割が理解できる	<input type="checkbox"/> 関係者と密にコミュニケーションをとる事ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手とケアについて意見交換できる	病院内だけでなく病院外との調整ができる	自施設に不足している機能に気づき補完するために資源を活用できる
			<input type="checkbox"/> 看護チームの一人であることを理解し、日々の患者へのケアを他の看護師と協働して行う	<input type="checkbox"/> 看護展開に必要な関係者を特定できる	<input type="checkbox"/> 積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる	<input type="checkbox"/> 多職種間の連携が機能するように調整できる	看護チーム内では看護師が役割を効果的に発揮できるよう調整を行う
			<input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアが必要と判断した情報を関係者から収集することができる	多職種の協力が必要であると理解できる	チーム患者の治療方針や検査結果、ケアの内容を多職種で共有し、意見を聞く事ができる	各職種が役割を効果的に発揮できるよう各職種の役割を明確化し、患者に関わる事のできるような連携を促進する	<input type="checkbox"/> 多職種連携が十分に機能するよう、その調整的役割を担うことができる
			<input type="checkbox"/> ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる	<input type="checkbox"/> 看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換できる	定期的なカンファレンスだけではなく必要なタイミングを見極めてカンファレンスを開催できる		<input type="checkbox"/> 関係者・多職種間の中心的役割を担うことができる
			多職種(医師、看護師、認定看護師、薬剤師、栄養士、リハビリスタッフ、MSWなど)の役割を理解する	患者の疾患の現状、検査結果、治療方針を担当医に確認できる	カンファレンスの目的を理解し協力者(家族または患者を取り巻く人々)の参加を求め開催できる	<input type="checkbox"/> 多職種の活力を維持・向上させる関わりができる	連携にあたっては全体を俯瞰しまわりを動かすことができる
			<input type="checkbox"/> 連絡・報告・相談ができる	患者の訴えや受け止めている思いを医師に伝える	チーム患者、家族の医師・希望・思いが看護計画に反映できているか確認できる	カンファレンスにおいては連携が促進されるようファンリテートすることができる	多職種を中心に巻き込み各職種が役割を効果的に発揮できるよう各職種の役割を明確化しチーム目標を共有し結束して関わる事ができるような連携を促進する
			受け持ち患者について、常に自らの持つ情報を他の看護師に連絡し患者の状態について報告し判断のできない事や経験のない処置について相談ができる	看護チームで情報共有し看護の方針を確認できる 患者カンファレンスに参加し、積極的に発言することで、患者の思いや希望等の必要な情報を関係者と共有する	チーム患者の看護計画に基づいた実践により患者、家族のニーズが満たされているか評価し必要に応じて情報を追加し再アセスメントできているか確認する		
	目標	ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	ケアの受け手や周囲の人々に意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる	複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる	
	意思決定を支える力	行動目標に応じた実践項目	<input type="checkbox"/> 助言を受けながら患者や家族(または患者をとりまく人々)の思いや考え・希望を知ることができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報を提供できる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる	<input type="checkbox"/> 適切な資源を積極的に活用し、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる
			不安を推察し、思いを聞く事につとめる必要があると気づき、思いの表出を促すことができる。	希望を聞いた際にはその希望の背景や理由についても確認することができる	療養の場や治療・検査について選択肢の特徴が説明でき、患者家族に提案するなどして意思決定を支える	患者と家族の気持ちを引き出したり、意思決定プロセスを促進させることができる	患者と家族が自ら決定できたり考えたりすることができるように積極的に関わるなかで、意図的に医療チームを動かし意思決定プロセスを支援できる
			患者や家族(または取り巻く人々)の思いや考え・希望をリーダー看護師に伝えることができる	患者や家族(または患者をとりまく人々)の思いや考え・希望を意図的に確認することができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いが理解できる	幅広い知識から様々な案を提示することで意思決定プロセスを促進できる	患者と家族の思いは日々変化している事を念頭に多角的な視点から患者と家族を尊重し寄り添い続けることができる
				<input type="checkbox"/> 確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる	患者や家族にとって何が価値観・生き方・意向を引き出し、それぞれの気持ちを聞くことができる	複雑な意思決定場面において患者家族を尊重し寄り添い続けることができる	<input type="checkbox"/> 法的および文化的配慮など多方面からケアの受け手や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる
				患者や家族(または患者をとりまく人々)の思いを看護計画に取り入れることができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを多職種に代弁できる	患者や家族、医療スタッフの意向が異なる場合において意向の違いの原因をとらえ、カンファレンスを開催することができる	複雑な意思決定場面において患者の尊厳を尊重した意思決定のために適切な資源を積極的に活用し調整できる
					説明に対する患者や家族の認識と医療者の認識のずれに気づき、追加説明などの調整ができる		適切な資源を積極的に活用しケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる

定義	レベル		I	II	III	IV	V
組織的役割遂行能力	(固定) チーム運営力	行動目標	<input type="checkbox"/> チューターや先輩看護師に報告連絡相談ができる	<input type="checkbox"/> チームカンファレンスで発言ができる	<input type="checkbox"/> チームサブリーダーとして役割遂行できる	<input type="checkbox"/> チームリーダーとして役割遂行できる	<input type="checkbox"/> チームリーダーやサブリーダーの支援ができる
			<input type="checkbox"/> 支援を受けて、日々の受け持ちができる	<input type="checkbox"/> チューターとして新人の悩みを聞きだす相手となり、上司や先輩に相談できる	<input type="checkbox"/> チームメンバーの育成をチームリーダーと共に行う	<input type="checkbox"/> 部署やチームの検討すべき問題や検討時期について自分から提案できる	<input type="checkbox"/> 部署の管理代行ができる
			<input type="checkbox"/> 支援を受けて、所属部署の交替勤務ができる		<input type="checkbox"/> 日々のリーダーができる		
			<input type="checkbox"/> 受け持ち看護師ができる		<input type="checkbox"/> 夜勤リーダーができる	<input type="checkbox"/> 日々のリーダーで模範的行動が取れ、部署やチームの検討すべき問題に計画的に取り組み、成果をチームで共有できる	
					<input type="checkbox"/> チーム目標に向けて自分のできることは何か考えて発信できる		
	育成力(社会人基礎力)	行動目標	<input type="checkbox"/> 指導を受けながら病院・看護部の目標が理解でき行動できる	<input type="checkbox"/> 病院・看護部の目標が理解でき行動できる	<input type="checkbox"/> 目標に基づいた行動ができて自己評価できる	<input type="checkbox"/> 目標に基づいた行動が指導できる	<input type="checkbox"/> 目標に基づいた行動を評価し、改善策が提案できる
			<input type="checkbox"/> 指導を受けながら医療安全対策に基づき行動できる	<input type="checkbox"/> 医療安全対策に基づき行動できる	<input type="checkbox"/> 部署内の医療安全対策について評価できる	<input type="checkbox"/> 部署内の医療安全対策について評価し改善策が提案できる	<input type="checkbox"/> 部署内だけでなく横断的に医療安全対策について評価し改善策が提案できる
			<input type="checkbox"/> 新人であることと自覚し指導に対して感謝できる	<input type="checkbox"/> チューターとして新人・レベルⅠ看護師の支援ができる	<input type="checkbox"/> 日々のケアにおいてメンバーの指導ができる	<input type="checkbox"/> 目標達成に向け、チームメンバーのアイデアや考えを引き出せる	
			<input type="checkbox"/> 挨拶や仕事の準備・片付けを自らすすんで行う	<input type="checkbox"/> 自分のできることできないことを受け止め説明できる	<input type="checkbox"/> 新人が必要な知識技術を習得できるよう支援できる	<input type="checkbox"/> メンバーの提案に全面的に協力できる	
			<input type="checkbox"/> 自身の健康が管理でき出勤できる	<input type="checkbox"/> 同僚が困っている時にできることがないか声をかけることができる	<input type="checkbox"/> 後輩のラダー課題への適切な助言や学生指導ができる	<input type="checkbox"/> 実習指導者として学生及びスタッフへの指導・評価ができる	<input type="checkbox"/> 実習受け入れやレベルⅠ・Ⅱの課題にチームとして関わられるよう調整することができる
<input type="checkbox"/> 提出物や指示された時間が守れる			<input type="checkbox"/> 与えられた課題について計画が立てられる	<input type="checkbox"/> 所属部署の目標達成のため自分の役割を理解し計画・実践できる	<input type="checkbox"/> 時間管理について指導できる	<input type="checkbox"/> 部署内の時間管理について評価し改善策が提案できる	
<input type="checkbox"/> 必要なことをメモに残すことができる(メモを取る習慣)				<input type="checkbox"/> 与えられた役割や業務について計画的に取り組める	<input type="checkbox"/> 業務における報告連絡相談について指導できる	<input type="checkbox"/> 部署内の業務における報告連絡相談について評価でき改善策が提案できる	
<input type="checkbox"/> 指導を受けながら学習の成果が実践できる			<input type="checkbox"/> 学習の成果が実践できる		<input type="checkbox"/> 業務基準・手順に沿った実施について指導できる	<input type="checkbox"/> 業務基準・手順に沿った実施について指導の評価ができる	
<input type="checkbox"/> 指導を受けながら決められた業務を時間内に実施できるように調整できる			<input type="checkbox"/> 決められた業務を時間内に実施できる	<input type="checkbox"/> 自己の時間管理について評価し改善策を見出すことができる	<input type="checkbox"/> 部署の勉強会や発表会を企画・運営することができる	<input type="checkbox"/> 院内研修が企画・実施・評価できる	
<input type="checkbox"/> わからない時や困った時自己判断せず支援者やリーダーに報告連絡相談できる			<input type="checkbox"/> 業務における報告連絡相談が適切にできているか振り返る事ができる	<input type="checkbox"/> 業務における報告連絡相談が適切にできているか評価することができる			
<input type="checkbox"/> 指導を受けながら業務基準・手順に沿った実施ができる	<input type="checkbox"/> 業務基準・手順に沿った実施について振り返り学びを深めることができる	<input type="checkbox"/> 業務基準・手順に沿った実施について自己評価できる					
自己研鑽・研究能力	自己研鑽・学習力	行動目標	<input type="checkbox"/> 新人看護師研修プログラムに沿って研修に参加する	<input type="checkbox"/> 自分の学習課題を見出し学習計画を設定し具体的な行動ができる	<input type="checkbox"/> 部署やチームの課題を達成するために自分に必要な学習が理解でき行動できる	<input type="checkbox"/> 自分の目指す方向性を意識し継続的に院内外の研修や学会に参加し計画的学習ができる	<input type="checkbox"/> 自分の目指す方向性を意識し継続的に院内外の研修や学会に参加し計画的学習を行い組織に貢献する
			<input type="checkbox"/> 自分が大切にしている看護について、まとめて発表できる I-①看護観 I-②ケーススタディ		<input type="checkbox"/> リーダーシップについて学び伝達できる	<input type="checkbox"/> 看護部委員会・ナース会・院内WGの計画を率先して実施しより効率的な方法について考えられる	<input type="checkbox"/> 部署やチームメンバーの課題を達成するためにメンバーと意図的な関わりをもつことができる
			<input type="checkbox"/> 指導助言を受け個人目標を立て年間計画に基づいた看護実践ができる	<input type="checkbox"/> 横断的活動を通して課題に取り組み、時間調整、活動の計画、実行を行うことができる 「仲間と考える看護展開」	<input type="checkbox"/> ひとつひとつもつと良い方法や効率的な方法はないかという視点で取り組める	<input type="checkbox"/> 指導を受けながら管理的視野を持ち学習することができる	<input type="checkbox"/> 管理的視野を持ち学習することができる
			<input type="checkbox"/> 指導された内容をメモにとれる		<input type="checkbox"/> 研究的視点で看護を捉えることができる	<input type="checkbox"/> 研究的視点で看護を捉えることができるよう指導できる	<input type="checkbox"/> 研究的視点で看護管理を捉えることができる
			<input type="checkbox"/> 次の勤務に備えた体調管理ができる		<input type="checkbox"/> 看護研究メンバーとして活動できる	<input type="checkbox"/> 看護研究リーダーとして主体的に活動できる	<input type="checkbox"/> 看護研究の助言・支援ができる
	内省力	行動目標	<input type="checkbox"/> 日々の振り返りの中から解決可能な行動を考える事ができる	<input type="checkbox"/> 指導されたことから自己の課題を見つけ行動することができる	<input type="checkbox"/> 他者の発言や指導から自己の行動を振り返ることができる	<input type="checkbox"/> 他者の発言や指導から自己の行動を振り返り新たな行動が考えられる	<input type="checkbox"/> 他者の発言や指導から自己の行動を振り返り新たな行動が実行できる
						<input type="checkbox"/> 日々の実践やケアがメンバーに影響を与えることができる	<input type="checkbox"/> 自己の発言が部署内で与える影響を考慮することができる
武田病院グループ 共通対象者				一人前看護師 グループ人材交流研修受講	中堅看護師 グループ人材交流研修受講	達人看護師 認定看護師教育課程受講 中間管理者研修受講	
宇治武田病院対象者			日々の受け持ち 受け持ち看護師 交替勤務	チューター看護師	固定チームサブリーダー 日々のリーダー 夜勤リーダー 委員会活動 実習指導	固定チームリーダー 委員会活動リーダー 病院夜間リーダー 次期役職者候補 副主任 (副主任のラダー評価表は管理的視点を含む)	